

令和 6 年度民間提案型官民連携モデリング事業 シーズ提案書（民間事業者）

インフラの維持管理・修繕等 / 災害対策・復旧を見据えたインフラ整備・維持管理 / 無電柱化 / スモールコンセッション / グリーンチャレンジ / その他（スマートシティ）

リアル+デジタル「インバウンド観光ナビ」協議会

「デジタル地図」と「町のキオスク」の整備

【分野】 道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（スマートシティ）

【手法】 コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他（スマートシティ）

デジタル地図」と「町のキオスク」整備で、暮らす人とインバウンド向けに、街のイベント・お店・観光情報を提供（双方向）することにより、誰にでも分かりやすい多言語に対応したブランディングと、デザインビジュアルの定着を実現する

①提案によって解決する地方公共団体が抱える課題イメージ

- ・提案により解決する課題：スマートシティ構想（デジタル地図）を都市空間（リアル）に効果的に展開／官民の小規模な遊休土地施設を活用した「デジタル・キオスク」をデザインし、データをフィードバックする
- ・想定する自治体の人口規模・面積・立地等：協働の主体としては東京 2 3 区などの自治体、モデリング事業の具体的な地域は人流10万人ほどの駅を中心とした商業圏（定住人口より利用人口を優先）
- ・官民連携事業の対象となる公共施設等の規模等について想定：ターミナル駅・準ターミナル駅を中心とした周辺の商業エリア（人流データを分析・活用し同規模の対象地域同士のデジタル・ネットワークング）

②提案の概要

- ・提案の概要：インバウンド来訪者と暮らす人向けの「デジタル地図」を整備し、都市（リアル空間）に「デジタル・キオスク」を整備する。デザインとデータで発信して、地域のブランディングを継続的に実施する
- ・提案の新規（従来手法と比較し異なる点や工夫した点）：デジタル情報（スマホ端末等）に、リアル空間のデザイン施設を組み合わせることで、来訪者や老若男女にメッセージを伝達
- ・提案の導入条件（期間、コストなど）：具体的社会実験のための「デジタル・キオスク」導入（1年[試作機]～3年[複数展開によるネットワーク効果の実証実験]）

提案のポイント（箇条書き）

- ・スマートシティ構想においては具体的な都市組織との連携が欠けていることがボトルネックであり、その解消による既存のデジタルインフラ・サービスの相乗効果を導く
- ・人流を無制限に設定せず、交通インフラや都市構造などで一定の地域性を有したエリアを対象としたデジタル活用によるまちづくり
- ・インフラや地形や都市組織などの具体的条件によってすでに生じている人流の強化・改善のためのデジタル活用の手法開発
- ・インバウンドの効果促進および地域内の多様性に多言語人口の両方に配慮した、自動翻訳やQRコードを活用したテクノロジーの活用パッケージの構築
- ・都市のデジタルデータの「意味づけ」の段階における評価項目の高度化、その手法（例：平面マップデータに表れない段差などによる人流への影響、人流データの特異点[近いのに流れない等]の現地調査）
- ・多様な主体の参加によるワークショップを通じた「ウォーカビリティの条件細分化」の調査手法の確立と「モビリティの多様性に応じたバリアフリー化による地域振興」のエビデンスに基づく提言
- ・エリア、業種、専門領域を横断する新たな「スマート・エリアマネジメント主体」の構築、担い手育て（スクール等）

③課題解決のイメージ・効果

- ・スマートシティ推進と都市基盤整備の相乗的連携
- ・人流データや利用データの収集による「デジタルキオスク導入による効果」の可視化、フィードバック
- ・多言語対応をデジタルによって低コストで継続的なメンテナンス

その他

- ・地元のNPOとの5年間の協働
- ・大学によるデータの蓄積、eスポーツなど先駆的なコンテンツの開発
- ・地域で活動する建築士・不動産会社のグループによるデザインの実践